

資料4 泉川水系流域治水プロジェクト  
更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、また泉川水系においても、平成20年8月豪雨において宅地の浸水被害が発生していることから、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施し家屋浸水被害の解消を図る。



位置図



河川整備状況

堤防整備（護岸工）

凡例

- 浸水範囲（基本方針規模1/30）
- 河川
- 流域境
- 市町村境

立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

水見市立地適正化計画

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

- ・災害リスクの現地表示、水害ハザードマップの周知
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道掘削、堤防整備、橋梁架替 等【富山県・水見市】
- ・森林整備・治山対策【富山県】
- ・雨水貯留施設の整備（開発行為における調整池など）【開発事業者】等

- 被害対象を減少させるための対策
- ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組【水見市】等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・災害リスクの現地表示、水害ハザードマップ及び洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知【富山県・高岡市・水見市】
- ・地区防災計画の策定、避難訓練への住民参加促進および住民参加【高岡市・水見市・住民】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【富山県・高岡市・水見市】
- ・水防災教育（出前講座の活用）、マイ・タイムラインの普及および作成【富山県・高岡市・水見市・住民】
- ・災害情報普及支援、浸水被害軽減対策【富山県・高岡市・水見市】
- ・水位計・監視カメラの活用【富山県】
- ・事業継続力強化計画の策定促進【富山県】

河道掘削

森林整備・治山対策

水位計・監視カメラの活用  
河川状況等ライブカメラ情報

県HPに掲載  
リアルタイムでの情報発信

要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援

説明会の様子

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 泉川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
  - 【短期】泉川下流部の市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため河積確保を目的とした河道掘削等を実施。
  - 【中期】泉川下流部の堤防整備(JR橋梁部含む)を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
  - 【中長期】泉川中上流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	泉川の河道掘削、堤防整備、橋梁架替等	富山県 氷見市	河道掘削による早期対応		
	森林整備・治山対策	富山県	堤防整備による安全度向上		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組	氷見市	河道掘削による早期対応		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、水害ハザードマップ及び洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知、地区防災計画の策定	富山県 高岡市 氷見市	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		
	水位計・監視カメラの活用	富山県	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		

【事業費(R6年度以降の残事業費)】

■ 河川対策  
全体事業費 17.6億円※  
河道掘削、堤防整備等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進

# (様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)		
事業・施策の名称	河川改修(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)		
実施場所	泉川		

## 【対策概要】

### 1. 事業概要

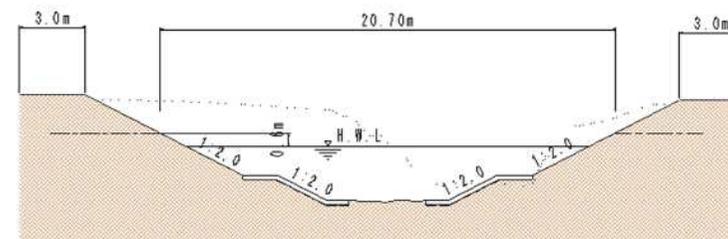
泉川は、河積が狭小なため浸水被害が発生しており、昭和51年の豪雨では床下浸水26戸の浸水被害が発生し、平成20年8月豪雨では上流部の堤防が決壊し、20haの被害が発生した。

平成26年2月に河川整備計画を策定し、河床掘削、築堤等の河川改修(1/10)を実施するとともに、下流部でボトルネックとなっているJR橋梁の架替工事に着手し、浸水被害の解消を図る。

### 【事業内容】

事業期間：平成元年度～

内容：計画延長2,270m(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)



# (様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	氷見市
メニュー名	河川改修(河道掘削)		
事業・施策の名称	河川改修(河道掘削)		
実施場所	泉川		

## 【対策概要】

### 1. 事業概要

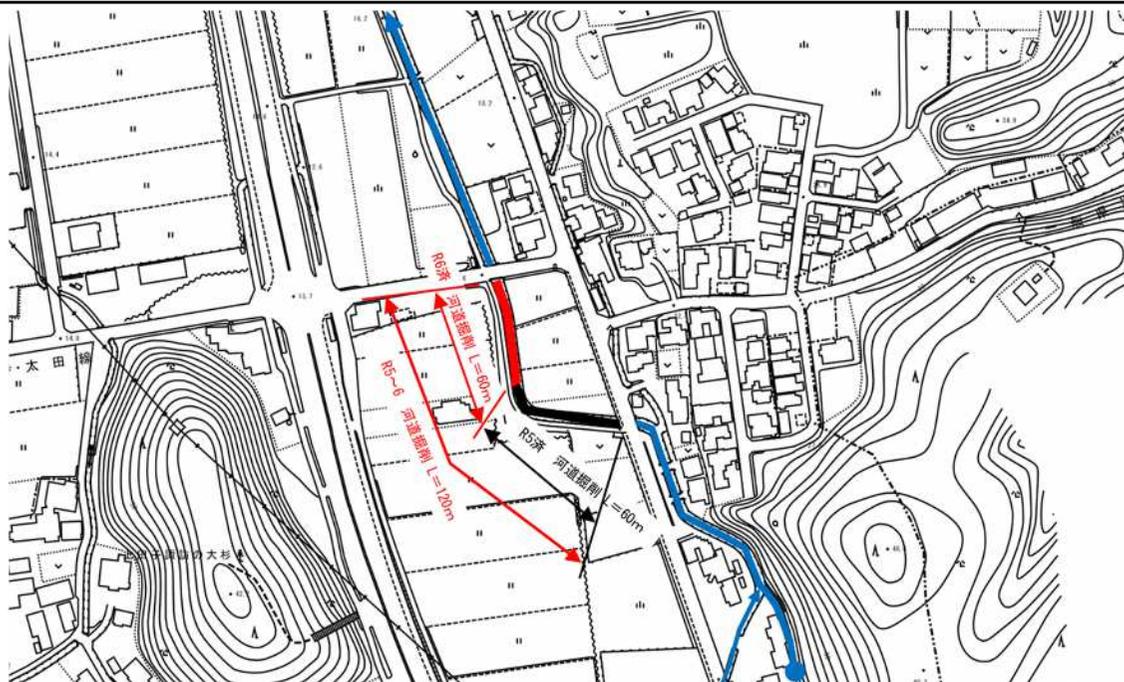
泉川は、河積が狭小なため浸水被害が発生しており、平成20年8月豪雨で上流部の堤防が決壊し、20haの被害が発生した。

県管理区間の河川改修事業（河道掘削、堤防整備、橋梁架替）の実施に併せて、市管理区間において、河道掘削を行い浸水被害の解消に努める。

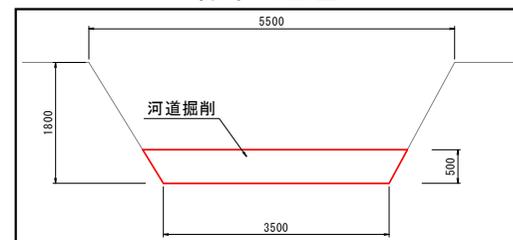
### 【事業内容】

事業期間：令和5年度～令和6年度

内 容：計画延長120m（河道掘削）



標準断面図

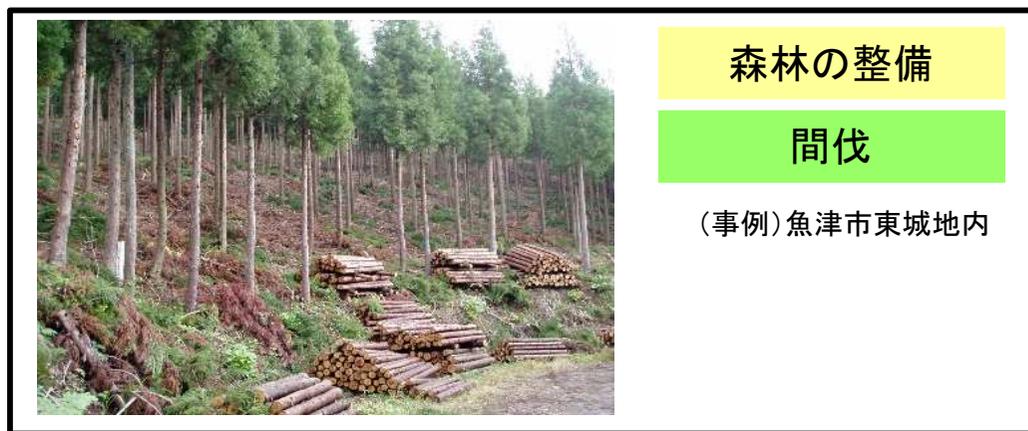
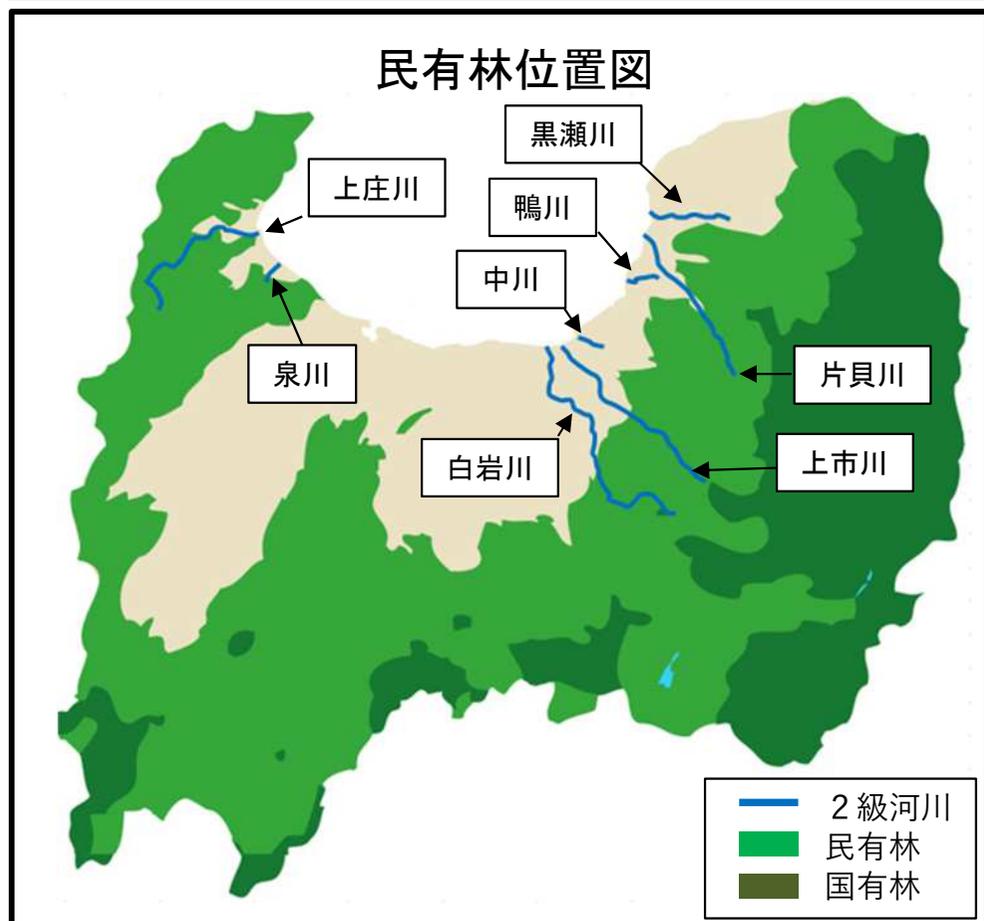


(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	泉川流域		

【対策概要】

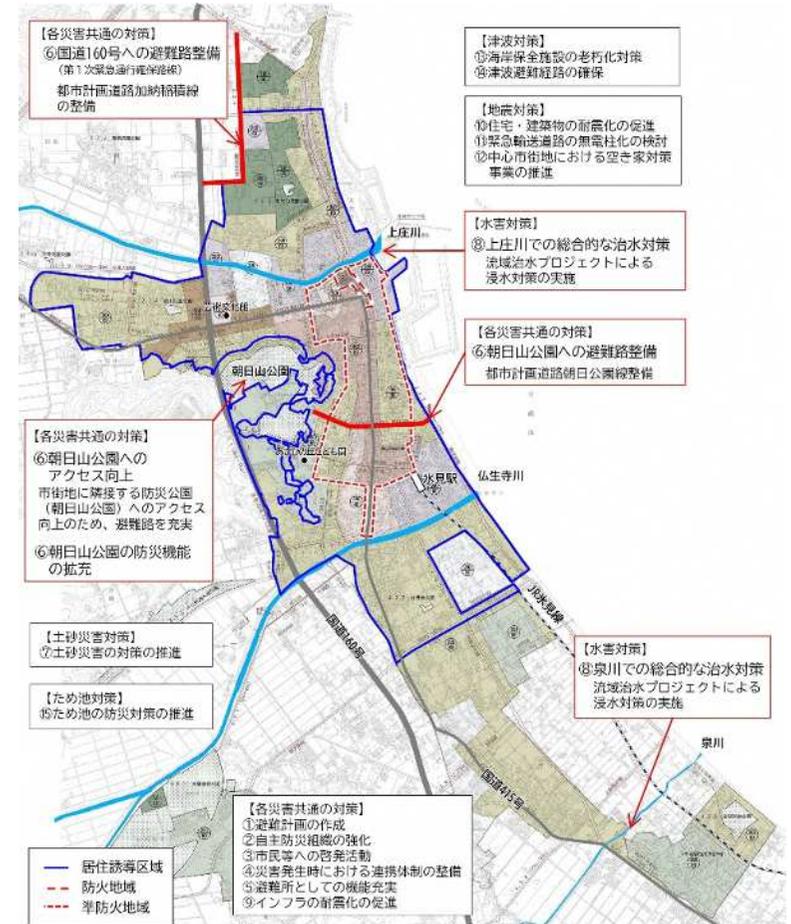
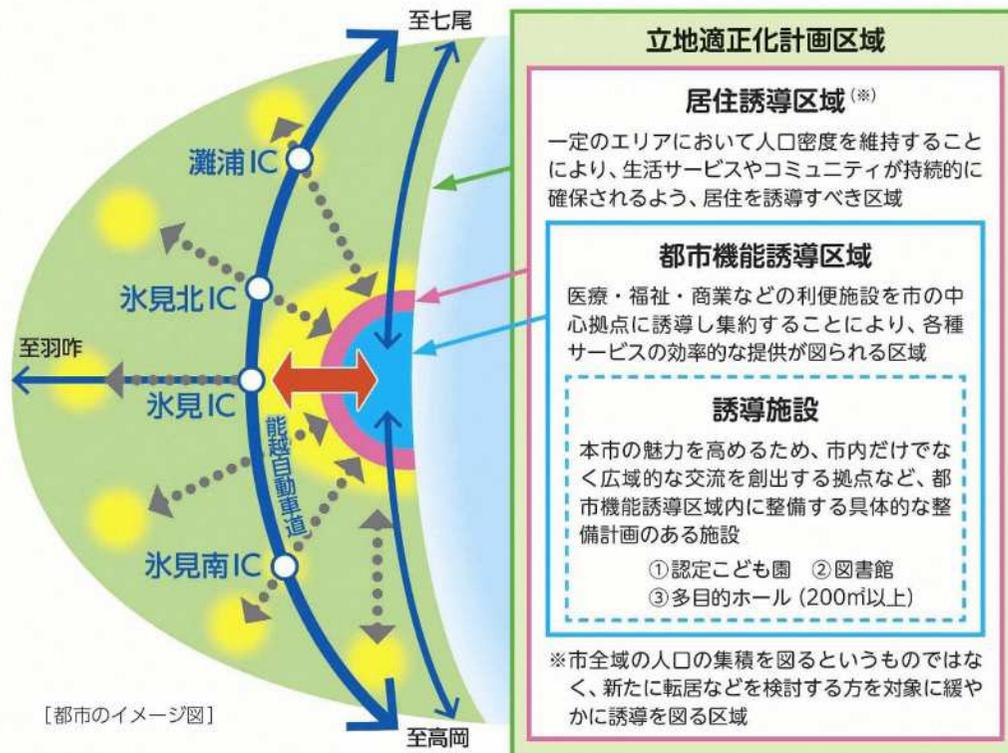
山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備（間伐等）や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



(様式: 取組事例)

区分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	氷見市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組		
実施場所	泉川流域		

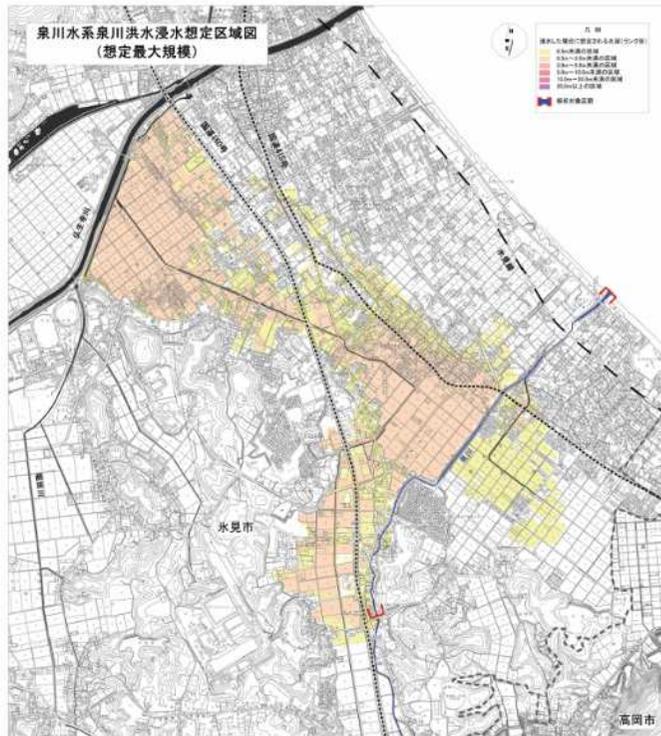
**【対策概要】**  
 「安全なまちづくり」に向け、立地適正化計画の取組みを行う。



(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、高岡市、氷見市
メニュー名	災害リスクの現地表示、水害ハザードマップ及び洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、水害ハザードマップ及び洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	泉川流域		

令和元年6月14日に県内全ての水位周知河川(41河川)について、また泉川については令和元年6月25日に、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「水害ハザードマップ」(高岡市)及び「洪水ハザードマップ」(氷見市)を作成しています。



泉川浸水想定図(想定最大規模)

**はじめに**

この災害ハザードマップは、大雨により市内を流れる河川がはん濫した場合や、山沿いでげげ崩れなどの土砂災害が発生した場合に、みなさんの「安全確保のための避難」や「危険回避」など自主的な行動を支援することを目的に作成されたものです。まず、みなさんの地域の「危険度」を認識し、災害発生時には迅速な避難行動や災害応急対応を行えるよう、日ごろから備えましょう。

**洪水浸水想定区域**

- 平成27年5月水防法の改正に伴い、対象となる河川(朝日川、仏生寺川等)の最大規模の降雨(1,000年に一度程度の確率)を想定した新たな洪水浸水想定区域を示しています。
- 以前にみなさんに配布した「氷見市洪水浸水想定区域図(平成19年度作成)」に比べて、浸水範囲が広く、浸水深が深くなっている箇所が多いので、再度確認してください。
- その他の小川や水路などがある内水はん濫などは考慮されていませんので、想定と異なる浸水深となる場合や、想定が示されていない区域においても浸水する場合があります。

河川名	想定雨量	河川名	想定雨量
平渡川	24時間 813mm	上庄川	24時間 781mm
月尾川	24時間 813mm	仏生寺川	6時間 351mm
泉川	24時間 813mm	康川	24時間 813mm

**土砂災害警戒区域**

- 土砂災害警戒区域は、平成13年4月に制定された「土砂災害防止法」に基づき、土砂災害の危険性のある区域について算出されたものです。土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、監視観測体制の整備など、ソフト面での対策を推進しようとするものです。
- 人前に影響を及ぼす区域を対象としており、指定されていない区域でも土砂災害が発生する可能性があります。
- 浸水及び危険なためについては、用ひる市が発行している「洪水ハザードマップ」及び「土砂災害ハザードマップ」をご覧ください。

**目次**

表紙 はじめに 地図 洪水・土砂災害ハザードマップ P1-P6

避難の心構え マップ作成の目的/目次 P1 案内図 P2

災害学習・避難活用情報1 洪水発生時の仕度/浸水想定区域の考え方 P3 土砂災害警戒区域の解説 P4 土砂災害の発生と事前対策 P5 避難経路の考え方/取組/行動 P6-P6

災害学習・避難活用情報2 指定期の避難準備 P5-P6

裏表紙 災害時対応チェックリスト/緊急連絡先/防災関係機関/避難所/災害サービス

この冊子の地図に使用している地図情報は、氷見市役所(約5,000平方メートル)を複製したものです。

**家族で話し合っておく**

洪水・土砂災害発生時にどこに避難し、どのように避難を心がげるか、家族で事前に話し合ひましょう。

**防災訓練に参加しよう**

氷見市や地域が行う防災訓練に積極的に参加し、いざという時に活用して避難経路などの危険箇所や正否区域を確認しておきましょう。

氷見市洪水ハザードマップ(想定最大規模)

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～【R4.3月リニューアル、R5.3月改修(危機管理型水位計のリアルタイムデータが閲覧可)、R6.6月改修(ダム貯水位の確認可※外部リンク、10分更新)】
- ・ 公開の内容:河川海岸カメラ画像情報(静止画:5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況



県HP「富山県河川海岸カメラ・水位情報」

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダム貯水水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

- 【実施概要】
- ・ 配信開始日: 令和6年6月21日
  - ・ 配信の内容: 受け取りたい河川(46観測所)の水位(4段階)や、ダム(16箇所)の貯水水位(3段階)の各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

# とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し水位の基準値を超えると自動的にメールを配信

登録ユーザー

事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録(〇〇観測所の〇〇水位)

ダムの貯水水位が上昇し、基準値を超えると自動的にメールを配信

### 配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	・ 氾濫危険水位 (レベル4)
	・ 避難判断水位 (レベル3)
	・ 氾濫注意水位 (レベル2)
	・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が ・ 100%の貯水水位 ・ 80%の貯水水位 ・ 50%の貯水水位

【参考】各基準値の内容

河川水位

ダム貯水水位

【避難判断水位到達】和田川本江  
以下観測所で避難判断水位に達しました。

水系名: 庄川  
河川名: 和田川  
観測所名: 本江  
レベル: Lv3 避難判断水位  
観測値: 3.70 m  
基準値: 氾濫危険水位 4.30 m  
避難判断水位 3.70 m  
氾濫注意水位 3.50 m  
水防団待機水位 3.00 m

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、高岡市、氷見市
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象:市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援するもの。

【取組実績】

- ・ 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・ 令和2年度：魚津市にて講習会
- ・ 令和3年度：富山市にて講習会
- ・ 令和4年度：富山市にて講習会
- ・ 県内の要配慮者利用施設1,660施設中1,519施設（91.5%）で計画を作成済み（R6.9.30時点）



講習会の様子 R4 富山市

4 節 防災訓練

【防災訓練実施の目的】

【実施要領】

実施内容	実施時期	実施回数
避難訓練	令和4年度	2回
避難訓練	令和5年度	2回
避難訓練	令和6年度	2回

4 節 防災訓練

【防災訓練実施の目的】

【実施要領】

実施内容	実施時期	実施回数
避難訓練	令和4年度	2回
避難訓練	令和5年度	2回
避難訓練	令和6年度	2回

簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式:取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	氷見市、住民
メニュー名	地区防災計画の策定		
事業・施策の名称	地区防災計画の策定		
実施場所	各地区の被災時の活動体制、避難経路など		

地区防災計画の主な内容は、地区毎の平常時や災害時における住民の役割分担の確認や、防災訓練の実施内容について計画し、災害時には避難所設営・運営などの行動計画を盛り込むなど、自主防災組織が作成した住民のための地区防災マニュアル。

【令和6年度に策定した11地区】

朝日丘、北部、加納、稲積、宮田、上庄、速川、神代、久目、阿尾、藪田  
6年度の11地区の計画策定により、  
市内22の自主防災組織すべて計画策定済となった。

【令和5年度までの策定11地区】

(H30.2策定) 仏生寺、(R2.12策定) 十二町、(R4.3策定) 中央  
(R6.2策定) 窪、宇波、八代、余川、碁石、女良、布勢、明和

## 朝日丘地区防災計画

『**家族を守り まちをまもる**』

SDGs 住み続けられるまちづくりを

**完全保存版**

防災行政無線放送を聞く場合 電話0120-134-151(フリーダイヤル)  
火災発生情報等を聞く場合 電話0766-22-9999(有料)



朝日丘小学校

**令和7年2月策定  
朝日丘地区自主防災会**

住民のみならず  
※この地区防災計画書は、災害時にすぐに取り出せるようにわかりやすい場所に保管ください!

講習会の様子 R6 氷見市



計画策定報告会 R6 氷見市

